

能登半島地震から 1年後に学校教育旅行を 受け入れた理由

令和7年11月21日

一般社団法人春蘭の里 代表理事 多田真由美

石川県能登町の紹介



能登町は、風光明媚な海岸線や田園風景が広がり、自然豊かな町です。

自然の恵みへの感謝の気持ちや神への信仰心が篤く、あばれ祭をはじめとする祭りが各地区で盛んに行われているほか、国指定重要無形民俗文化財のアエノコトやアマメハギなどの民俗風習が今も受け継がれています。



世界農業遺産「能登の里山里海」の域内

■能登地域の農林水産業システムイメージ図（「能登の里山里海」世界農業遺産保全計画（第3期）より抜粋）



1. 一般社団法人春蘭の里のご紹介

①1996年に「春蘭の里実行委員会（前身の組織）」を結成

□過疎化する集落に「若者を呼び戻そう」と仲間ら7人で立ち上げた。

□立ち上げメンバーの一人が多田喜一郎氏（発表者の父）

②1997年に能登町最初の「農家民宿」を開業

その後、農家民宿の軒数は徐々に増やした（現在約50軒）



「春蘭の里実行委員会」によるむらづくり推進体制図

春蘭の里実行委員会（企画・立案・指導）



農家民宿群
宿泊施設



- 農家民泊
- 地元料理の提供
- 農作業体験の実施等



NP0法人こぶし
廃校活用
宿泊施設



- 宿泊施設管理
- 定住促進
- 修学旅行の受入等



（農）のと
夢づくり工房
農産加工



- わら製品づくり
- 農産物加工品づくり
- 直売所運営等



（有）春蘭の
里ファーム
農業経営



- 水稻の栽培
- 有機野菜の栽培
- きのこ山の管理等

農家民宿群による受け入れ

学校教育旅行

(ホームステイ・農業体験等)



観光客

(古民家・一日一組・地産地消)



国内外から年間1万3000人余りが訪れ、地方の誘客成功例として注目を集めた

2015年10月「一般社団法人 春蘭の宿」設立

【その他の経緯・受賞歴】

- 2010年、石川県「里山里海ミュージアムプロジェクト」モデル地区に選定されました。
- 2010年10月、「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」のエキスカーションを受け入れにてSATOYAMA（里山）の代表として紹介されました。
- 2011年10月、イギリス『BBCワールドニュース』の地域課題解決の取り組みを紹介する「ワールドチャレンジ2011」で4位にノミネートされました。
- 2013年2月9日、「平成24年度地域づくり総務大臣」に表彰されました。
- 2013年10月29日、「皇太子徳仁親王」がお立ち寄りになられました。

2. 自己紹介



2020年8月、（一社）春蘭の宿の代表理事に就任
父・喜一郎から引き継ぎました。

金沢市内の大学を卒業して、Uターンしたばかりでした。

- 父が育てた組織を引き継ぐプレッシャーはありました。
- 能登の自然や文化の魅力を活かせば、来られた方々を喜ばせられる自信はありました。
- 能登の魅力をより一層伝えられる質の高い受け入れを目指したい。
- 関東の都市部や金沢市から移住した若いスタッフ4人を受け入れました。
- カフェやゲストハウスを開くことなども計画しました。

3. 能登半島地震による被災後の取組み

(1) 被災者の「避難所」として開放

- 農家民宿とこぶし宿泊所を「避難所」として開放（約7日後、受入開始）
- 震災前から地域コミュニティによる活動や水力・太陽光発電なども実施していたお陰で、比較的早い段階で電気や水道などのライフラインが復旧しました。



画像：春蘭の里 ゼロカーボンビレッジ
(石川県、能登スマート・ドライブ・プロジェクト協議会)

（２）支援者・ボランティアの方々への農家民宿の貸出

- 「約15棟の農家民宿」を支援者やボランティアの方に貸し出しました。
- 多くの方が支援やボランティアに来てくださりました。
- 避難されている方もたくさん交流ができて大変喜んでいただきました。

4. 震災から翌年に受け入れ再開

- 震災から1年経ちますが、まだ復旧作業が進められています。
- 壊れた建物の解体が進み、景観が失われてしまうという不安もあります。
- しかし、前を向いて復興に取り組むために、一般の方や修学旅行の受け入れを再開しました。

「春蘭の里」 × 「探究的な学習」 現地学習プログラム

奥能登の農村に泊まって学ぶ、持続可能な暮らしと里山保全

奥能登の山あい広がる春蘭の里は、「自然以外に何もない」ことを逆にとり、集落をあげて農家民宿の運営に取り組んでいます。農家での民泊を通じて、昼は野菜の収穫や川遊びなど里山の暮らしを体験し、夜は囲炉裏端で心づくしの手料理を味わいながら、お父さんお母さんと語り合います。農家の方と生活を共にすることで、自然に寄り添う暮らし方や里山保全と農村の関係について学びます。



ここも注目!!

野菜の収穫や山菜・キノコ採りなどの農作業体験のほか、薪割りや草履づくり・草木染など、様々な体験を用意しています。

学習の
ねらい

農村の暮らしを体感し、自然に寄り添う暮らし方と里山の保全について学ぶ



事前学習

- 地方における過疎高齢化や集落の現状について調べる
- 能登地域が世界農業遺産に認定されたことの意義について考えてみる



現地学習

- 入村式
- 春蘭の里の取り組みを紹介（セミナー）
- 農家での民泊体験と里山の暮らし体験
- 離村式



事後学習

- 里山の暮らしを未来につなぐために、自分たちができることを考えてみる
- 普段の生活を振り返り、環境やエネルギーの問題について考えてみる

AREA/能登

里山里海の暮らし・環境

一般社団法人 春蘭の里

石川県鳳珠郡能登町宮地1-2-1
(宮地交流宿泊所こぶし)
TEL 0768-76-0021

プログラムデータ

- 開催期間／通年
- 参加料金／1泊2食+体験14,850円～
※料金詳細についてはお問い合わせください。
- 受入人数／5人～150人 ※超える場合は要相談
- 所要時間／基本的に1泊2日（体験のみも可能）